

自己評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を实践するための制度の理解と活用
4. 理念を实践するための体制
5. 人材の育成と支援

.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

.サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -
“ 愛媛県地域密着型サービス評価 ”

〔記入方法〕

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が

各自己評価項目について、「取り組みの事実」を記入し、取り組みたいに を付け、適宜そ

「取り組みの事実」は必ず記入すること。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。

(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。

関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 ぐるうぷほうむ54番地

(ユニット名) 2階

記入者(管理者)
氏名 竹田 友和

評価完了日 平成19年 6月 15日

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 事業所としての理念を「人生の継続性を大切にし、自分らしく生きて行く」として掲げ、今まで生きてきた暮らし方を大切にし、地域の中で暮らし続けていけるように支援を行っている。		
			(外部評価) 利用者のこれまでの人生を大切に一人ひとりを支えていくための理念が作られている。理念に基づき、地域とのつながりも大切にしていきたいと考えておられた。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 毎日の申し送りや月1回のミーティング、カンファレンスの際、利用者一人ひとりへの支援が理念に沿っているかということを確認し、話し合っている。		
			(外部評価) 代表者、管理者は、職員からの質問等の返答時にも理念に基づいてお話をされている。管理者は、職員が自ら気づき、行動ができるような助言等に心がけておられる。		
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にした理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価) 家族の方には面会時に近況報告を行うと共に、事業所の支援の方針について話し合うようにしている。地域の方とは運営推進会議の際に事業所の理念について説明を行い理解が得られるよう働きかけている。		地域へは、今後、ホーム便りなどを作成し、ホームの理念やグループホームの役割などを理解していただけるよう取り組みたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 散歩に出かけた際等、近隣の人達と挨拶を交わしたり、時に野菜を頂いたりしている。また、職員が利用者への対応に困っていた時、近隣の方が話しかけてくれたりしたこともある。		近隣の方が事業所に立ち寄ってくれるようなことは少ない。今後は、地域の方が参加できるような事業所主催の行事等についても検討をしていきたい。
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 事業所前の神社行われる夏の盆踊りや秋の地方祭には積極的に参加している。また、公民館事業に利用者と一緒に参加することもある。		利用者とともに地域の活動に積極的に参加し、利用者が地域の方とが交流できる機会を増やしていきたい。
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 運営推進会議等で地域の方に向けて、「事業所を介護についての相談場所として欲しい」と話している。近隣の方から身内の方の介護についての相談があった。		さらに、今後、事業所主催の夏祭りの開催が予定されている。小野地区のふれあいサロンへの参加等、利用者が楽しみとなるような取り組みから地域の方達とさらに交流を深めていかれることを考えておられた。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) ミーティングの際に自己評価項目に沿って、日頃のケアについて振り返りながら話し合った。全職員で自己評価に取り組み管理者、運営者がまとめ作成した。		(外部評価) 職員個々が自己評価に取り組み、ユニット主任と管理者がまとめられた。前回の評価結果を受けて、共用空間に畳のスペースを採り入れられたり、アセスメントシートの改良からさらに利用者個々の思いの把握に努められた。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価)		
			運営推進会議では、事業所が、現在、取り組んでいる事について報告を行なった。また、自己評価項目の内容について話し合い、質問、意見、要望等を出していただいた。		
			(外部評価)		
			町内会長の方や地域のふれあいサロンの方達、市の担当者が出席し、会議が進められている。地域サロンへのお誘いや避難訓練に関する事等が話し合われている。会議の内容については、後日ご家族等に報告をされている。		さらに、運営推進会議をいろいろな方達の意見を聴く機会として、さらに事業所の質の向上につなげていけることが期待される。
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価)		
			松山市の介護保険課の職員の方と連絡を取り合い協働している。		
			(外部評価)		
			代表者は、介護認定審査委員や研修の講師としても、地域の認知症ケアの向上のために市と協働されている。		
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価)		
			地域福祉権利擁護事業や成年後見制度についての研修に参加し知識を深めている。		職員に積極的に研修参加をすすめる。
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			毎月のカンファレンスの際に、利用者への対応について振り返る機会を持っている。		勉強会などで高齢者虐待防止法に関して学ぶ機会を設け虐待に関する知識をさらに深めたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 利用を予定している方へは、入居前の見学や自宅への訪問し話し合う機会を作っている。また、契約時にもゆっくりと説明をしている。		
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 職員は日常の利用者との会話の中から、不安や思い、意見を聞くようにし、それに対して支援が行えるようにしている。日常会話から聞き出しにくい内容も本人の想いを抽出するアセスメントを活用し、その内容についてカンファレンス時に職員間で話し合いを行っている。		
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 家族面会時に、健康状態などを含めて日常の様子を報告している。また、毎月、本人の写真を添えて手紙を送っている。		本人との会話の中から職員が感じたことや普段の状態をさらに知っていただけるような報告の方法について検討していきたい。家族との食事会を計画したい。
			(外部評価) 来訪時に、職員がご本人の暮らしぶりを伝えておられる。毎月、日頃の様子を書いたお手紙と写真を添えてご家族に送付されている。		さらに、ご家族が知り得たいような情報について、探ってみられてはどうだろうか。職員のこと金銭管理のこと、環境面のこと等、ご家族とのさらなる信頼関係作りに向けた取り組みが期待される。
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 心身の状況や日頃の暮らしぶりを伝え、意見や希望などを聞くようにしている。		ケアサービスに関するアンケートを作成し、家族の意見を引き出せるように努めていきたい。また、気がかりな事や、意見、希望を職員に気軽に伝えたり相談しやすいようにホームに来られた際の声掛けや場面作りを入居者の家族に合わせて具体的に行ったり、家族会などを儲け不安や悩みなど家族同士の交流が図れるようにさまざまな機会を提供したい
			(外部評価) 以前は、ご家族のご自宅を訪問し、ご家族に日常のご本人の様子について報告を行ない、意見や要望を聴いておられたが、現在は、ご家族の来訪時や電話での意見の聴き取りとされている。		今後、家族会等、家族同士が集まるような機会作りをすすめていかれることを検討されている。ご家族が意見を出しやすいような機会作りに向けた取り組みが期待される。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 毎月のミーティングやカンファレンス等で職員が意見を出し、主任会等でその意見について運営者も含めて検討し、話し合っている。		
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 事前に予定できている行事などに関しては人員の確保を行っている。また利用者の生活の状況に合わせて、就業時間を調整している。		
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 異動に関しては十分に配慮をし、利用者が混乱しないように取り組んでいる。離職を希望している職員との話し合いの時間の設けている。 (外部評価) 職員が変わった場合は、管理者が新人職員のことを利用者に紹介されている。現在、職員同士のチームワークが良好で、何でも話し合える関係ができています。		新しい職員が入った時には、職員チーム全体で利用者への対応について話し合う機会としたい。
5. 人材の育成と支援					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 入社時、一週間程度、内部研修を行っている。外部への研修に関しては、研修案内があるたびに職員の経験や力量に応じて呼びかけを行い参加を促している。研修後、報告書を作成し他の職員にも内容を周知している。 (外部評価) 代表者は、認知症ケアの研修講師をされており、日常的にアドバイスをもらえるようになっている。管理者は、職員の段階に合わせて助言をされ、ユニット主任を中心に実践につなげていく仕組みができています。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 他の事業所の研修を受け入れ、相互評価事業への参加も積極的に行っている。実習を通しての気付きから具体的な実践につなげていけるように話し合いを行っている。		
			(外部評価) 相互評価への取り組みや他事業所の研修受け入れ等を積極的に行い、他事業所との交流を通じて、気付き等を得て実践につなげておられる。		
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) 職員の不安や悩みなどをユニット主任は日常的に聞くように心がけており、対応できない事柄については、管理者や運営者と相談できるようにしている。また月に1回のミーティングでも話し合う機会を設けている。		定期的な親睦会を行うことの検討。職員個別の悩みなどを聴く機会を設けたい。
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 運営者も頻繁に現場に足を運び、利用者と過ごす時間を作っている。職員の資格取得への協力や研修へも積極的に参加するよう呼びかけている。また年に2回、職員は健康診断を受けている。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1.相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 入居前の面談を行い、事前に生活状況などを把握できる様に努めている。また、本人や家族からの要望などを聞き、ケア面等で活かせるように努めている。		入居前に担当職員を決めて対応するような方法など、利用者と馴染みの関係が作りやすいように配慮したい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 入居前の面談時に家族の要望などを聞き、事業所がそのように対応できるかということについて話し合っている。		入居前に担当職員を決めて対応するような方法など、家族の不安の解消に努め、馴染みの関係の構築につなげていきたい。
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 本人の希望や家族の方が求めているものを理解し、事業所としてどの様な対応が出来るかを話し合っている。		
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 本人や家族に見学に来ていただいたり、運営者や管理者が本人や家族の方と会うことで安心して利用してもらっている。		職員の関わり方を考え、他の利用者との関係性などについても見極め、本人が早く事業所の雰囲気に馴染んでいただけるよう取り組みたい。
			(外部評価) 入居間もない方が「帰りたい」と言われることに対して、職員は、思いを受け入れ対応しておられた。利用者同士の関係性等をみながら、事業所に馴染んでいけるよう支援しておられる。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 職員は利用者一人ひとりの得意な事を把握し、日常の中で発揮していただいたり、職員から相談し教えていただける場面をつくれるよう支援を行っている。		
			(外部評価) 利用者が職員に労いの言葉をかけておられる様子がうかがえた。又、職員は、利用者から「待つ」ことの大切さを教えもらったと話されていた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 日頃から家族の方とのコミュニケーションを図り、本人からの要望や不満などについても家族と相談し、協力を得られるよう働きかけている。		
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 本人の家族に対する思いやご家族の思いなども踏まえて支援している。		
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 電話等で話しができるように支援している。		訴えや自己表現が困難な方に対しての支援についても検討していきたい。
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 利用者個別に話を聞いたり、食事やおやつの時間などには、利用者同士の会話が弾むように職員が仲介役をしている。また、トラブルが起こらないようにも配慮している。仲の良い利用者同士で過せる場所を大切に、設置している。		認知症のレベルや性格等にかかわらず、利用者同士が支え合って生活できる様に支援していきたい。
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 退居される時やその後も、利用されているサービスの関係者と情報交換をするなどして、利用者の生活が困らないように支援を行っている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1.一人ひとりの把握					
33	14	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)		
			利用者の方と過ごす時間を通して、一人ひとりの希望、関心、意向を探り、それをもって日常の中で本人が選びやすい場面作りをしている。言葉では意思表示が出来ない方については、表情や反応から希望や好みの把握に努めている。		埋もれてしまいがちな本人が決める力やその人らしい希望、願いを引き出せるよう、アセスメントシートの様式を改善し取り組みを行なっている。
			(外部評価)		
			職員は、利用者の発言や態度等から思いや意向を探っておられる。又、アセスメントシートを改良して、ご本人の思いを書き込み、情報を職員で共有しておられた。		
34		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)		
			日常の会話や家族からの情報を基に、利用者の今までの生活の背景を把握し、その人らしい暮らしや本人の記憶に残る過去の経験を暮らしの中で活かしていけるように努めている。		利用者全員の生活歴など把握できる様に家族からの情報や本人からの言葉に敏感に耳を傾け、職員全員で共有できるような仕組みを作っていく。
35		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価)		
			生活のリズムを把握すると共に利用者の方の心の声にも耳を傾けられるように日々の生活の中でかかわっている。		利用者の方の心身状態の変化などにいち早く気付けるように関わりを多く持てるよう努める。職員全員が周知できるようにカンファレンスなどを積極的に行いたい。
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価)		
			本人が困っている事やしたい事等を日常生活の会話や、家族との話の中からアセスメントシートを活用して把握し、それを毎月のカンファレンス等で話し合い、介護計画を作成している。		
			(外部評価)		
			ご本人の思いや希望を大切に、ご本人の困っていることを主体にして、介護計画を作成しておられる。		ご家族からの要望やご本人に関係する人達からのアイデアを、さらに採り入れた計画を作成するような取り組みについても期待される。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
			基本的な介護計画の見直しの期間を1ヶ月としている。本人の要望を受け入れつつ状況が変化した場合はその都度検討し見直しを行なっている。		
			(外部評価)		
			1ヵ月ごとに介護計画を見直しておられる。個別介護記録にご本人の日々の変化について記述する欄を設け、計画作成時の参考とされていた。		
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
			職員は介護記録の様式を出来事、対応、変化の項目に別け詳しく記入し、出勤毎に確認するようにしている。また毎月のカンファレンスで職員間で情報を共有しながら介護計画を作成している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
			本人や家族の状況に応じて、柔軟な対応ができるように心がけている。		利用者の生活を支援して行くために、さらなる柔軟性をもった支援を行なえるように取り組みたい。家族アンケートを活用し、家族の求めていることを探していきたい。
			(外部評価)		
			ご本人の希望・要望には柔軟に対応をされている。お墓の掃除に毎月行かれる方への支援や温泉に行きたい方への同行も予定されていた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 運営推進会議を活用し、地域資源を活用できる取り組みについて話し合いを行なっている。		地域のふれあいサロンへの参加
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 現在利用している方はいないが、ご本人の希望に合わせて対応するようにしている。		利用者が利用できるサービスの内容や種類を増やしていけるように検討したい。
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 地域包括支援センターが開催する地域ケア会議へ参加している。		情報交換や相互協力の連携にさらに取り組みたい。
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 2週間毎に協力医療機関の医師が往診に来てくれるようになっている。以前からのかかりつけ医で継続して受診している方もいる。 (外部評価) ご本人やご家族の希望されるかかりつけ医で診てもらおうよう支援されている。		かかりつけ医と密に連絡を取り情報交換を行えるよう取り組みたい。
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) かかりつけの医師などと相談したり協力医療機関の医師などに相談できる体制である。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 看護師資格を有する職員もケアに関わり利用者の健康状態についてよく理解しており日常の健康管理などいつでも相談できる様にしている。		緊急時などにも速やかに対応できるよう、今後も積極的な情報交換を行っていききたい。
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 入院時などは医療機関と情報交換を行いなるべく早期退院できる様に相談している。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) ターミナルに対して家族、医師などと連携を図り支援している。関係者での話し合いを何度も行ない、利用者や家族の気持ちの変化にも合わせながら柔軟に対応が行なえるよう支援をしている。 (外部評価) ご本人の気持ちを聴き取り、アセスメントシートに記入するようになってきている。ご家族の要望等も含めて職員間で共有するようになってきている。		本人、家族の方と話し合い本人、家族の気持ちを考慮しつつ、対応できるように検討したい。
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 入居時、ターミナルに対する家族の要望を聞きとり、事業所で出来る事、できない事について家族と話し合っている。		本人の希望を尊重し、医療機関や家族、職員間で常に連携を図り対応できるように検討したい。
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 利用者が暮らしやケアを継続できるよう事業所での生活の様子や支援について移行先への伝達している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>					
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>					
<p>(1) 一人ひとりの尊重</p>					
50	20	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) 明らかに介護されているという雰囲気を作りださずにさりげない声掛けや対応ができるように配慮している。		職員の申し送りや利用者の方がおられる時などは本人の前であからさまに話をする事のないように注意したい。
			(外部評価) 介護記録のカバーを布で手作りされ、共用空間で記録を書かれる時の違和感に配慮されている。利用者の状態を踏まえて、声かけ等にも気配りをされている様子が調査訪問時、うかがえた。		事業所自身が、声かけについて気になる点があると感じておられる。さらに利用者への関わり方について話し合わせ、さらなるケアの質の向上につなげていけることが期待される。
51		利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 自己決定が困難な利用者に対しても本人の力量に応じて声掛けを行っている。利用者の希望を極力取り入れて生活を支援しているが職員が決めてしまっている部分も多くある。		利用者の方が主体と言う事を念頭に置き、日々の生活を送っていただけるよう支援していく。
52	21	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 利用者本人のしたい事などが実現できる様に柔軟に対応している。(買い物、散歩等)		日常生活の中でコミュニケーションをとり、利用者一人ひとりがしたい事、行きたいところをどんどん言って頂けるようにしたい。
			(外部評価) 喫煙や一日の過ごし方等、利用者の習慣も考慮し、ご本人のペースで生活できるよう支援しておられた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 起床時の着る物などについて本人の意向で決めており、また整容を朝行ったり、自室に鏡を置いて自分でお洒落を楽しまれている方もいる。		日常生活の中の楽しみの一つになるように髪型、服装のおしゃれができるよう取組みたい。また、女性は化粧なども行なえるような支援に取り組みたい。
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 食べたいものを聞いたりして、食事が楽しみの一つになるように支援している。また調理の刻む音や、食事の匂い、色合いや、味、取れたての野菜の手触り等、五感を刺激されるように配慮している。		利用者の方からどんどん食べたいものの希望が出る様に声掛け等を工夫したい。
			(外部評価) 利用者とともに畑の野菜を採りに行き、調理方法を相談して料理を作っておられた。宅配の牛乳を取っている利用者もおられる。		
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 手作りおやつなどを取り入れ、楽しみとしてもてるようにしている。また個々の好みのおやつ等をお出ししている。		意思表示の少ない方や持病などで制限がある方への配慮をどのように行うか検討し取組みたい。
56		気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 排泄チェック表を作成し、必要に応じて、時間を決めて定期的にトイレ誘導をしている。		オムツやパットを極力使用せずに済む方法を日頃の勉強会やカンファレンスで検討していきたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			曜日や時間などにとらわれず入浴ができるよう支援している。また入浴を嫌がられる利用者にも清潔を保持できるように工夫して声掛けを行っている。		清拭や足浴も行えるよう支援していきたい。
			(外部評価)		
			入浴を嫌がられる方には、無理強いせず、ご本人が入浴したくなるような雰囲気作りに努めておられる。又、温泉に行きたいと希望される方もおられ、実現できるように計画をすすめたいと考えておられた。		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			日中の散歩等で活動的に過ごしていただき、生活のリズムが整うよう支援している。高齢や体力低下がみられる方も本人のペースで休息できるようにしている。		夜間時に不眠の方への対応や一日のリズム作りについて勉強会等で話し合っていきたい。
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			出来る事、できない事を把握し、それぞれの役割を見出すようにしている。集団の中でのその方の役割を大切にしている。		個々の楽しみを取り入れながら毎日生きがいを持っていただけるように支援していきたい。また、職員で気づけていないその人の役割を見つけ支援していきたい。
			(外部評価)		
			調査訪問時、七夕飾りを作っておられた。利用者は、願い事を書いた短冊や飾りを眺め、「家に居たらできんことをさせてもらってうれしい」と話しておられた。		食事、入浴を含め、ご本人が楽しいことをさらに楽しめるよう、職員のかかわり方等について話し合われてみてはどうだろうか。
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			買い物などに行った際には自ら金銭の支払いをして頂ける様に工夫している。		利用者一人ひとりの希望や力を探り、お金を所持しお金を持つことで楽しみごとが増えるよう支援していきたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			天気の良い日には散歩に出かける様にしている。歩行が困難な方も車椅子などを利用して積極的に外へ出る事を支援している。		外に出る事を嫌がられる方も居られが、その方の好みや想いを大切にしつつ、外に出る楽しみを作れるよう取組みたい。
			(外部評価)		
			ユニットの皆でくるくる寿司を食べに行かれた。又、日常的な散歩や買い物にも出かけておられる。		外出をされる方の偏りがあると事業所自身で感じておられる。今後、地域のサロンへの参加も含めて介護計画へ盛り込み、取組みをすすめて行きたいと考えておられた。
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			日常生活の中から利用者の方の要望を聞き、散髪等にも出かけている。		利用者それぞれに行きたい場所について聞き出せるよう取組みたい。
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			いつでも電話が出来るよう支援している。		毎月お手紙を家族の方に送っているので、その際に利用者の方にも手紙を書いていただき返信用の封筒を添えて手紙を出すなどの取組みを行いたい。
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			訪問時間などは定めずいつでも訪ねて来ていただけるようにしている。また面会時は職員が玄関まで出迎え、居心地よく過ごしていただけるように雰囲気作りを心がけている。		面会だけではなく宿泊できるようにしていきたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 身体拘束をしないケアについては十分に注意しながらケアを行なっているが、言葉の拘束についても気を付けている。		職員が身体拘束についての知識と弊害について理解を深められるように勉強会を行いたい。
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 利用者の方が外出する際には引き止めず、職員の連携を図りながら支援している。		近隣の住民の方にも協力をいただけるよう関係の構築に努めたい。
			(外部評価) 居間からも外に出られるようになっており、ベランダで喫煙をされている方もおられた。玄関は施錠しておらず、自由に出入りできるようにされている。		
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 日中は、職員が必ず一人フロアにいるようにしている。また居室で過ごされている時にも、職員がさりげなく訪室する様にしている。夜間なども定期的に居室を訪室するようにしている。		利用者の状態の変化を把握して、事故を未然に防ぐなど安全面での配慮について常に検討していきたい。
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 注意の必要な物に関しては職員間で話し合い、利用者の状態に応じて対応をしている。		現在は、共用空間内に物品が少いように感じる。利用者個々に意欲を持てるようなものを置けるよう話し合いしたい。
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 利用者の安全を第一に考えている。転倒、行方不明などの事故が起こった場合には、緊急ミーティングを開き事故の究明、再発防止について話し合っている。		リスクマネジメントへの取り組みの充実。ヒヤリハット記録を作成することを検討している。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 緊急時のマニュアルを作成し、職員全体に周知している。		いざという時に冷静に対応できるよう、実際に行ってみるような取り組みを検討したい。定期的の実技を含めた勉強会を実施するなど、繰り返し練習できるように取り組みたい。
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 災害時のマニュアルを作成し、職員全員災害時に対応できるように努めている。また年に2回消防署の協力を得て防火訓練を実施している。		実際の場面では冷静な判断が難しくなることが予想されるので事業所内でも定期的に避難訓練を実施できるよう考えている。
			(外部評価) 年2回の避難訓練を行っておられる。運営推進会議時に事業所から「グループホームの防火について」の説明をされている。		さらに、災害時に慌てず職員が行動できるような取り組みや職員の不安ごとについても話し合い、対策をすすめていかれることが期待される
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	(自己評価) 日常生活の中で起こり得るリスクに対して、家族などと話し合っている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 朝、夕の申し送りなどを通して利用者の方の体調の変化を職員全体で把握できる様に努めている。		勉強会を行い、利用者の急変時などにも職員が慌てずに対応が出来るように取り組みたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 薬表などを作成し、職員全体が利用者の薬の効能や副作用など把握できるように努めている。		薬に対する認識をもっと持つために、定期的に薬の効能や副作用についてなど勉強会を行えるように取組みたい。
75		便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 便秘傾向の方などには繊維のある物を多く摂取していただいたり乳製品など取り入れている。それでも改善されない場合には主治医などに相談している。		生活動作等から運動不足を解消して便秘予防に努めたい。
76		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 毎食後の口腔ケアについては、その都度声掛けをし能力に応じて介助を行っている。		口腔ケアの必要性を職員全員で理解できる様に勉強会などを重ねていきたい。
77	28	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 食事摂取量を記入すると共に毎月体重測定を行っている。また毎食、一汁三品を目安に料理を作っている。必要に応じて水分チェックをしている。		訴えの少ない方などは定期的に水分補給など行っている。また飲み込み状態の悪い方などはトロミを付けたりしている。
			(外部評価) 畑の新鮮な野菜を使用して調理することやいろいろな食材を使って調理することに努めておられる。調味料を頻りに使用するようにされている。水分摂取は一日に摂る量の目安を定め、好みの飲み物等も交えながら摂取できるようにされている。		
78		感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	(自己評価) 感染予防のマニュアルを貼り、全職員で対策に努めている。また利用者、職員共にインフルエンザの予防接種を行っている。		感染症の予防には十分注意を払っているが、衛生管理が徹底して出来るように定期的に勉強会の実施に取り組みたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		<p>食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>まな板、布巾、包丁など毎晩漂白剤につけたり冷蔵庫の整理などを定期的に行っている。また職員は手洗いをしっかり行うようにしている。</p>		
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
80		<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>違和感や威圧感を感じさせず、利用者や家族、近隣の住民も訪ねやすいような雰囲気作りに努めている。玄関周りには季節の花等のプランターを置いている。</p>		<p>近隣の人達からも事業所のことが見えやすいよう看板を設置するなど検討したい。</p>
81	29	<p>居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>廊下には四国八十八ヶ所の絵を飾っている。食堂、玄関などには花などを置いて季節感を出している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>共用空間の各所に椅子を配置し、お好きな場所で過ごせるように配慮されている。又、利用者の状態や行動等をみながら必要時に必要なものを増やしておられる。飾っておられる懐かしい道具等は、時に話題となり、利用者から使い方を教えてもらうこともある。</p>		<p>利用者の方にとって馴染みのある家庭的な環境作りに努めている。ベランダや廊下のデッドスペースを活用できるよう工夫したい。</p>
82		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>廊下の端に池が眺められる椅子とテーブルを設けたり、玄関に椅子を置くなどして一人になれるスペースを設けている。</p>		<p>テーブル、椅子などを設置しているが、居場所作りとしてはまだ不十分である。居心地の良い場所としての雰囲気作りを取り組んでいきたい。</p>

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			ベットやタンス、家族の方の写真などを持ち込まれている方もいる。		居室に何も無いような方がおられる。家族、本人と相談しながら馴染みのものを置けるよう取組みたい。
			(外部評価)		
			テレビやタンス、衣桁やベッド、寝具等それぞれがお好きなものを持ち込まれている。		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			体温調節がなかなか出来ない方のために職員がこまめに配慮している。また衣類などを着込むような方には、その都度声掛けを行い調節をしている。		建物の2階部分は、室温が上昇する時間帯もあり、夏場は室温管理に細心の注意を払いたい。
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			手すりなどを設けたりしている。車椅子や歩行器を使用している方が多い為、廊下は広く使えるようにしている。		
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			何がその人にとって分かりにくいかなどを探り、混乱や失敗などが見受けられた場合は、その都度ミーティングを行い、早期解決に努めている。		
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			庭にはベンチなどを設け、天気の良い日にはここでおやつを食べたり、裏庭には畑のスペースを設け利用者の方と一緒に色々な野菜を栽培している。		庭のベンチなど1Fの利用者の方との交流の場としてどんどん活用できるよう取組みたい。

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	全ての利用者の意向の把握に至っていない。また利用者の方の心の奥に潜んでいる思い等を日々の中から探り、それに極力近づけられるように取り組みたい。
89	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ①毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	毎日少しづつでも一緒に過ごすようにしている。利用者それぞれの必要な関わりを把握し、個々の要望に沿った過ごし方が出来るように取り組みたい。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者それぞれに自分のペースで生活していただいているが、状況などで声掛けをして、ペースを崩してしまう場合もあるので、ミーティングなどで徹底できるように取り組みたい。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	職員の関わりの中で笑顔が見られたり、畑の収穫や洗濯たたみなどの活動を楽しんでいたたりしているが、1日を通してもっと生き生きとした姿を増やせるように検討を続けている。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	極力利用者の方の要望を尊重し外出の援助などしているが、利用者の中には外出や散歩を好まれない方も居られ、対応について検討を続けている。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	定期的な往診を利用し安心して日々の生活が送れる様に努めている。また現場の職員も利用者の状態の変化にいち早く気付き対応できるように努めている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者個々の要望などを聴き取り、出来るだけ安心して落ち着いた生活を送ってもらえるよう支援しているが、全ての利用者への支援に至っていない。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己評価) 1 ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	面会時に本人の現状の説明を行い家族からの不満や要望などに耳を傾け職員と家族との信頼関係の構築に積極的に努めている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) 1 ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 3 たまに ④ほとんどない	地域の方や馴染みの方など時々訪ねて来られるが、頻度としては少ない。これからさらに働きかけていく必要がある。

項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	(自己評価) 1 大いに増えている ② 少しずつ増えている 3 あまり増えていない 4 全くいない	運営推進会議で少しずつ理解は得られてきていると思うが、これから更に理解を深め、関わりが増えるよう働きかけていきたい。
98 職員は、生き生きと働いている	(自己評価) 1 ほぼ全ての職員が ② 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	全ての職員とは言えないが、職員自身がやりがいや目的を持ち、生き生きと働いている。
99 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	(自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	おおむね満足はして頂いていると思うが、帰りたいと言われる利用者も居られるので、利用者の方の内面に潜む本当の心の声にも耳を傾けられるように取り組みたい。
100 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	(自己評価) 1 ほぼ全ての家族等が ② 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	家族は、「良くしてくれている」と言ってくれるが、これからも家族と密に連絡をとりながら満足していただけるようなサービスを提供できるよう取り組みたい。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

利用者の想いや希望を大切にし、それが日常の中で行えるよう支援を行っている。
利用者一人ひとりが大切にしているもの、生活について尊重し、集団としてはなく個々の生活を大切に支援している。
関わりでは、職員は利用者に対し認知症という認識はもたず、一人の人としての関わりを大切にしている。
活動としての役割だけではなく、集団の中の役割を利用者個々に担っていただける生きがい作りに取り組んでいる。
全ての利用者が安心して、穏やかに生活していけるよう{優しい介護}をチーム理念として職員全体で取り組んでいる。